

第 24 回全学教育シンポジウム 「京都大学の教育におけるニューノーマルを展望する」

1. 開催趣旨・概要

1996 年以来、京都大学では、毎年「全学教育シンポジウム」を開催し、教養・共通教育や大学評価など、様々な教育課題を取り上げてきました。

本年初頭からの COVID-19 の世界的で急速な広がりという人類的危機は、社会のあり方や私たちの生活様式を瞬く間に激変させました。各国の大学がオンラインによる授業の継続に移行する中、本学も含め日本の大学でも全学的にオンライン授業が行われる、という未曾有の状況が生まれました。さらに、キャンパスでの対面活動が制約され、授業内外の様々な教育・学習活動や国内外の学生の移動、特に留学生の行き来等が大きく停滞するという問題も生じています。

そこで今年の本シンポジウムでは、これらの経験や状況を踏まえ、今後の京都大学の「より柔軟で強靱」な教育のあり方や、今後本学で自主的・自発的に進めるべき教育改革・改善の取組の方向性や目的等について、多様な観点から考えたいと思います。

2. 日 程：9 月 11 日（金）10：00～17：00

3. 場 所：Zoom によるオンライン開催

4. プログラム

全体司会：佐藤 万知 高等教育研究開発推進センター准教授

【午前】

10：00～ 開会挨拶・基調講演 1

「京都大学の教育の課題と可能性：コロナ後を見据えて」

北野 正雄 教育・情報・評価担当理事、副学長

10：35～ テーマ 1：「オンライン教育の取組と経験を振り返る」

➤ パネルディスカッション（90 分）

報告者・パネリスト

- ・ 梶田 将司 情報環境機構教授
- ・ 田口 真奈 高等教育研究開発推進センター准教授
- ・ 大嶋 正裕 副理事、工学研究科長
- ・ 西岡 加名恵 教育学研究科教授
- ・ パリハワダナ・ルチラ 国際高等教育院附属日本語・日本文化教育センター教授

モデレーター：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授

（12：05～13：00 昼食・休憩）

【午後】

13：00～ 基調講演 2

「人類の未来を拓く教育とは何か」

山極 壽一 総長

13：35～ テーマ2：「大学と社会のこれから：with コロナ & after コロナの時代に」

➤ 鼎談（50 分）

パネリスト：湊 長博 プロボスト、戦略調整・研究・企画・病院担当理事、副学長
次期総長

稲垣 恭子 教育学研究科教授

出口 康夫 戦略調整担当理事補、人社未来形発信ユニット長、文学研究科教授

14：25～ 休憩

14：40～ 報告&インタラクション「コロナ禍における京大の教育の現状と課題」

報告者：山田 剛史 高等教育研究開発推進センター准教授「教員調査・学生調査の結果から」

15：25～ テーマ3：「京都大学の教育のニューノーマルとは」

➤ パネルディスカッション（参加者とのインタラクションを含む）（90 分）

パネリスト

- ・ 山極 壽一 総長
- ・ 北野 正雄 教育・情報・評価担当理事、副学長
- ・ 川添 信介 学生・図書館担当理事、副学長
- ・ 喜多 一 情報環境機構長

モデレーター：飯吉 透 教育担当理事補、高等教育研究開発推進センター長

16：55～ 閉会挨拶

17：00 終了